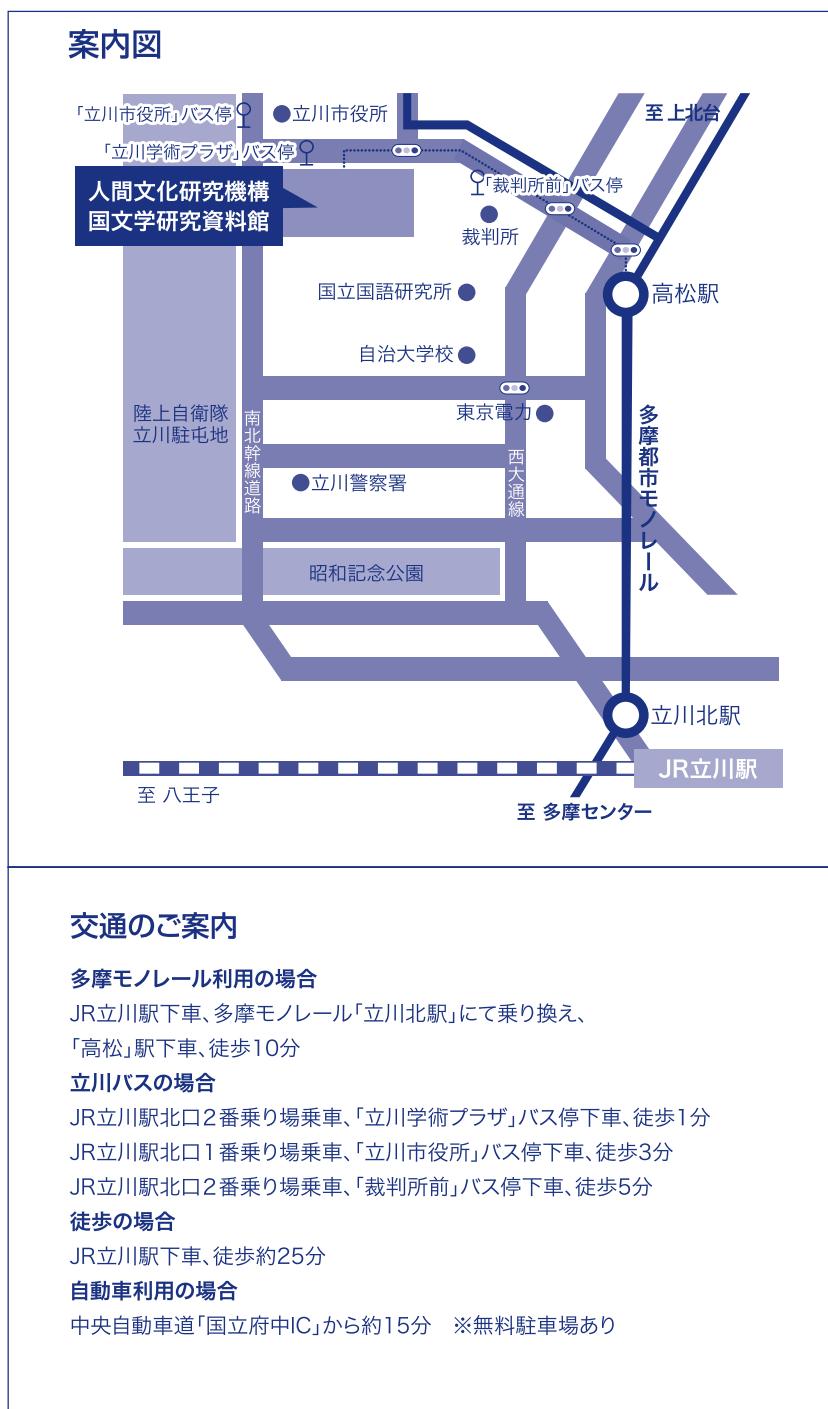


国際日本文学研究集会 会場



第36回

The 36th International Conference on Japanese Literature
National Institute of Japanese Literature
Tokyo, 17th~18th, Nov. 2012

国際日本文学研究集会

「再生の文学－日本文学は何を発信できるか－」

主催 人間文化研究機構 国文学研究資料館

案內

- | | |
|--------------------|---|
| 1. と き | 平成24年11月17日(土)～11月18日(日) |
| 2. と こ ろ | 人間文化研究機構 国文学研究資料館大会議室 |
| 3. 用 語 | 日本語 |
| 4. 研究発表会
参 加 費 | 無料(「会議録」送付希望者のみ1部500円を申し受けます。) |
| 5. レセプション
参 加 費 | 学生1,000円、他一般2,000円(当日受付) レセプション参加希望者のみ |
| 6. 参加申込締切 | 平成24年10月26日(金) |
| 7. 参加申込方法 | 申込書に①氏名 ②住所 ③レセプション参加の有無
を記して、E-mail・郵送・FAXのいずれかの方法でお申し込みください。
(当日受付も可能ですが、なるべく前もってお申し込み下さい。) |
| 8. 連絡先 | 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
国文学研究資料館
国際日本文学研究集会事務局
TEL 050-5533-2911・2912 FAX 042-526-8604
E-mail:icjl@nijl.ac.jp |
| 9. そ の 他 | 参加を申し込まれた方には、研究発表・講演の要旨をお送りします。
また当館ホームページ(http://www.nijl.ac.jp/)に、
研究発表・講演の要旨を掲載しておりますのでご参照ください。 |



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
TEL:050-5533-2911・2912 FAX:042-526-8604
E-mail:icjl@nijl.ac.jp <http://www.nijl.ac.jp/>

第36回国際日本文学研究集会プログラム 「再生の文学—日本文学は何を発信できるか—」

平成24年11月17日(土)

平成24年11月18日(日)

受付開始	12:00～
総合司会	イリグチ アツシ 入口 敦志(国文学研究資料館助教)
開会挨拶	タミカワ ケイイチ 谷川 恵一(国文学研究資料館副館長) 13:00～

第1セッション 司会 板坂 則子(専修大学教授)

研究発表	
① 種彦合巻『曾我太夫染』における考証の方法 一八つの注釈をめぐってー	
金 美眞(東京大学大学院博士課程) 13:10～13:40	
② 『伽婢子』における典拠の再生 —批判の独自性をめぐって—	
盧 俊偉(北京外国语大学大学院博士課程 国文学研究資料館外来研究員) 13:40～14:10	
③ 近世文学における楠正成伝説の再生—南朝復興の物語への転換をめぐってー	
李 忠澓(高麗大学校非常勤講師) 14:10～14:40	

休憩(10分) 14:40～14:50

第2セッション 司会 青田 寿美(国文学研究資料館准教授)

研究発表	
④ 「一九二八年三月十五日」の「芸術的欠陥」について	
梁 壽辰(中央大学大学院博士課程) 14:50～15:20	
⑤ 茂吉の再生	
佐々木比佐子(総合研究大学院大学博士課程) 15:20～15:50	
⑥ 志賀直哉『大津順吉』における「私」の心理	
モインウッディン モハマド(Moinuddin MOHAMMAD(大阪大学大学院博士課程) 15:50～16:20	

休憩(10分) 16:20～16:30

ショートセッション 司会 相田 満(国文学研究資料館准教授)①～③ 野綱摩利子(国文学研究資料館助教)④～⑥

① 九曜文庫本『源氏物語抄』と『水原抄』『千鳥抄』『珊瑚秘抄』	Tarin CLANUWAT(早稲田大学大学院博士課程) 16:30～16:45
② 『狭衣物語』における身分意識 —『源氏物語』との類似点と相違点、海外の研究での評価—	Michelle MYERS(名古屋大学大学院博士課程) 16:45～17:00
③ 中世文学の模倣やパロディの多面性 —『とはすがたり』における『源氏物語』摂取をめぐって	Raisa Katariina PORRASMAA(法政大学大学院研究生) 17:00～17:15
④ 『太平記』『楊國忠事』段所引の『白氏文集』本文の系統と考察	金木 利憲(明治大学専任助手) 17:15～17:30
⑤ 平安朝女流文学における虫の心象表現—恋心の動きと魂について—	劉 銀冥(中央大学大学院博士課程) 17:45～18:00

事務連絡・会場移動	18:00～
レセプション	18:20～19:20

受付開始	9:30～
総合司会	ウンノ ケイスケ 海野 圭介(国文学研究資料館准教授)

第3セッション 司会 中川 成美(立命館大学教授)

研究発表

⑦ 深沢七郎作品における「前近代」の再生—『楳山節考』と『甲州子守唄』を中心として	コウエイ 高艶(東京外国语大学大学院博士課程) 10:30～11:00
⑧ 描写が再生する日本の風土	ミナミ アスカ 南明日香(相模女子大学教授) 11:00～11:30
⑨ 廃墟と再生:田山花袋の関東大震災	ベイツ アレックス Bates ALEX(ディキンソン大学助教授) 11:30～12:00

休憩(120分) 昼食・ポスターセッション 12:00～14:00

第4セッション 司会 坂本 信道(京都女子大学教授)

研究発表

⑩ 平安朝漢詩の展開—『新撰万葉集』漢詩と道真詩に詠まれた蜘蛛の糸	リョウセイ 梁青(名古屋大学大学院博士課程) 14:00～14:30
⑪ 『看聞御記』に再生した「をかし」美意識としての「殊勝」	アダム ベドウナルチク Adam BEDNARCYK(ニコラウス・コペルニクス大学准教授) 14:30～15:00
⑫ 他者という規制装置—『源氏物語』を題材に	サギヤマ イクコ 鶯山 郁子(フィレンツェ大学教授) 15:00～15:30

休憩(10分) 15:30～15:40

公開講演

「たけくらべ」自筆草稿を開く 一樋口一葉(書くこと)の領域—
トマツ イズミ 戸松 泉(相模女子大学教授) 15:40～16:55

総括 16:55～17:05

ポスターセッション 11月17日(土)～18日(日) (18日 12:00～14:00 発表者による説明あり)

● 大江健三郎『治療塔』における死と再生—「3.11」という“未来の経験”	ナム フィジョン 南徹貞(東京外国语大学大学院博士課程)
● 長谷川如是閑にみる「笑い」—戯曲『大臣候補』を中心に—	オダギリリサ 小田切 璃紗(東洋大学大学院博士課程)
● 『諸艶大鑑』における世伝の人物造型についての検討—世伝は色道の「二代目」たり得るか—	ミスカミユウスケ 水上 雄亮(武藏高等学校中学校専任教諭)
● 井上靖シルクロード詩集における言語指向—素朴的、始源的、直接的な指向をめぐって	コイリョウ 顧偉良(弘前学院大学教授)
● 日本文化の精神性と枠形本について—考察—『おくのほそ道』の造本を出発点として—	ニシイオリ 西いおり(京都産業大学益川塾研究員)
● 『潮騒』における「婿選び」—説話主題と共同体神話の再生	ヨシショウイチ 余筱秋(東京外国语大学大学院博士課程)

研究展示「江戸の「表現」—浮世絵・文学・芸能」

特別展示「樋口一葉「たけくらべ」自筆原稿展」同時開催